

CLT パネル工法による木のぬくもりや香りを体感できる保育空間

岡山市錦認定こども園

設計・監理 (株)丹羽建築設計事務所

施工 (株)大原組

所在地 岡山市南区藤田 610-11
OKAYAMA NISHIKI NINTEI KODOMO-EN
architects: NIWA ARCHITECTS

既存園舎から新設園舎を見る。内部はCLT表して保育園に相応しい優しい空間を表現し、外部はタイル仕上げとすることで堅牢な面持ちの外観となっている。

CLTを活用したこどもに優しい保育施設を目指して

事業概要

錦保育園のある藤田地区には美しい田園地帯が広がる、自然に恵まれた環境に位置しています。現在の錦保育園は平成5年に建設された鉄筋コンクリート平屋建ての施設ですが、この度幼保連携認定こども園が、子どもに対する教育と保育とを一体的に行う単一施設として制度化されたことを受け、平成30年4月に「市幼保連携型認定こども園」への移行に向け保育室等を増築することになりました。

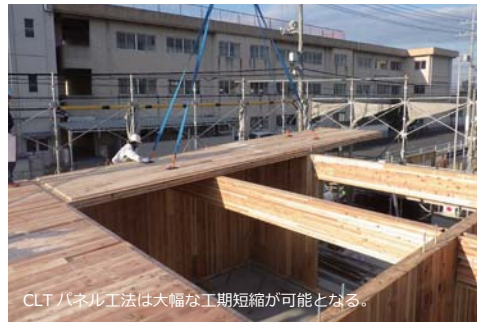
計画概要

「工期短縮」、「室内環境の向上」及び「県産木材の利用」など CLT 独自の特性を活かし快適な保育環境の整備。

- 設計上の工夫
 - CLT 独自の特性を活かすとともに、建築コストに配慮したシンプルな平面計画、立面計画、構造計画とする。
- 県補助金の活用
 - 設計委託料
CLT 等利用促進支援事業（岡山県）
CLT 利用建築物設計支援として補助対象経費の1/2以内、3,500千円上限
 - 工事費
CLT 等利用促進支援事業（岡山県）
CLT 利用施設等支援として CLT 材料費（加工費及び運搬費を含む）の1/2以内
- デザインの方針
 - CLT パネル工法の構造や木質等の特性を活かし、こどもに優しい環境をデザインすることで「こども園に相応しい魅力を創る」とともに、



CLT パネルはそのまま仕上げとなる。



CLT パネル工法は大幅な工期短縮が可能となる。

園児や保護者の方々に「木のぬくもりや香り」などが体感できる計画にしました。

- 持ち出しスラブやカーテンウォール状のサッシ等あえて在来木造を連想させない形態やシンプルなデザインとすることで CLT パネル工法独自のデザインを表現する。
- 室内外の視認性を高め、園児の活動や防犯等安全面に配慮すると同時に室内のパネル木肌を外部から視角的に表すことで、こどもに優しい環境を表現する。
- 工口的な室内環境を意識して採光、通風、断熱等に配慮する。
- 木造の新たな構法により木材利用促進において啓発するデザインを意識する。

建物データ

施設名 岡山市錦認定こども園（仮称）
 所在地 岡山市南区藤田 610-11
 主要用途 幼保連携型認定こども園
 施主 岡山市
 設計・監理 (株)丹羽建築設計事務所
 施工 建築 (株)大原組 機械 (株)松栄設備 電気 (株)岡山エレテック
 地域地区 市街化調整区域
 敷地面積 3302.44㎡
 建築面積 318.35㎡
 延床面積 311.23㎡
 階数 地上1階
 構造 木造 (CLT パネル工法)
 所要室 保育室、便所、倉庫、廊下
 設計期間 2016年8月～2017年3月
 施工期間 2017年9月～2018年3月
 工事費 建築 105,840,000円
 機械 23,405,760円
 電気 13,111,200円
 (外構、既存園舎改修等費用を含む)

